



**FUJIBO**

*The Focus on Innovation*

第**200**期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役会長兼社長

## 中野光雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第200期上半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題、日韓関係悪化など海外経済の不確実性により、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、現在実行中の中期経営計画『加速17-20』で、計画期間の後半2年間を「成長の加速」ステージと位置づけ、当期においては、これまで進めてまいりました研磨材事業・化学工業品事業での研究開発力、生産能力の強化を各事業の拡大に発現させております。また、繊維事業では、事業環境の変化に対応するため、更なる構造改革を進めております。

この結果、当中間期の連結売上高は前年同期比1,916百万円(10.8%)増収の19,666百万円、営業利益は401百万円(23.0%)増益の2,146百万円、経常利益は401百万円(21.8%)増益の2,247百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比143百万円(12.0%)増益の1,338百万円となりました。

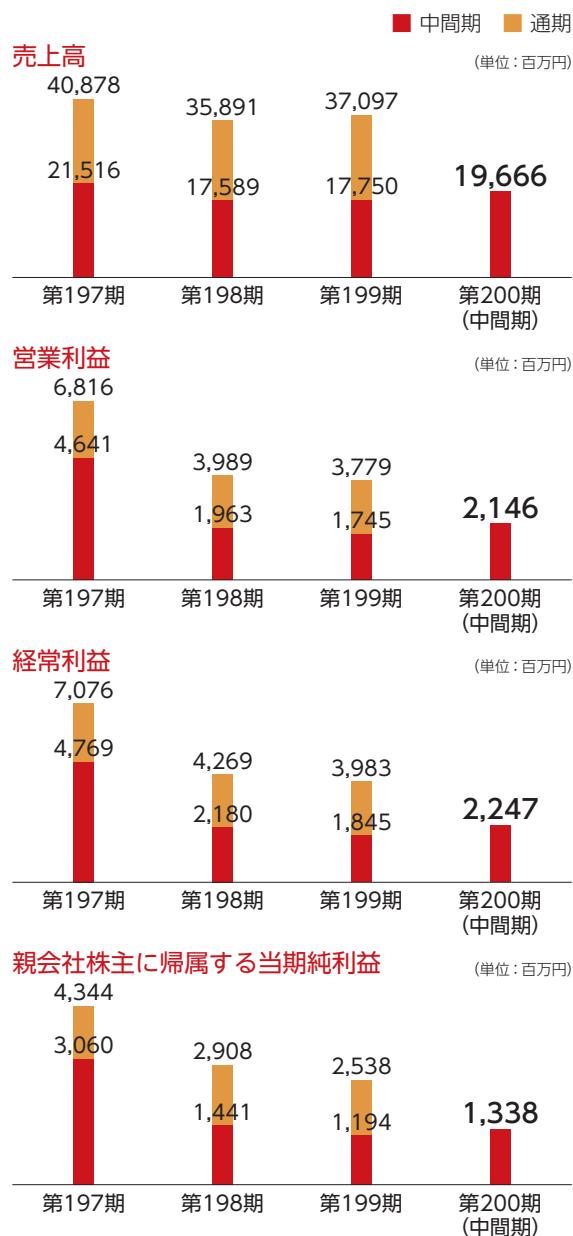
なお、当事業年度の中間配当金につきましては、中長期的な企業価値向上のための成長投資に振り向ける内部留保を勧案し、長期安定的な株主還元の観点から、前期の中間配当と同じく1株当たり50円とさせていただきます。

当社は、2017年度から2020年度までを計画期間とする中期経営計画『加速17-20』を実行しております。本中期経営計画では、計画期間の前半2年を更なる拡大のための基盤創りを加速する「変革の加速」ステージ、後半2年は企業価値拡大を加速する「成長の加速」ステージと位置づけ、利益重視に立脚した重点3事業の成長加速を基本方針とし、①収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大、②繊維事業の構造改革による収益力向上と反転攻勢、③成長加速に向けてのホールディングス機能の強化の3つの基本戦略を、スピード感を持って実行し、当社グループの企業価値拡大を「加速」させてまいります。

後半2年間の「成長の加速」ステージにおいては、主力事業として成長を続ける研磨材事業では、拡大の基盤創りのため、導入・建設を進めてまいりました研究開発設備と台湾新工場を活用し、半導体製造の最先端プロセス・次世代プロセスに対応した超精密加工用研磨材の開発・拡販に取り組むとともに、BCPと今後の受注拡大に対応するため国内新工場の建設を進めております。化学工業品事業では、更なる事業規模拡大のため、既存生産設備のフル稼働体制を構築するとともに、新規設備投資に着手しております。繊維事業では、インターネット販売など新規販売チャネルの開拓・拡大を進めるとともに、低採算商材からの撤退と生産体制の改革に取り組んでおります。その他の事業では、医療機器用途など新規商材拡大と金型事業の強化で、化成品事業を重点3事業に続く第4の柱事業として育成すべく基盤整備を進めております。

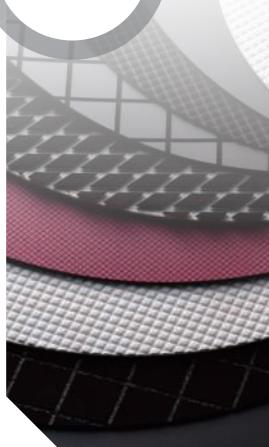
株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月



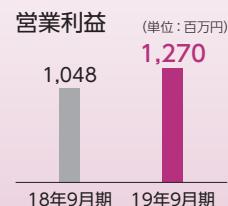
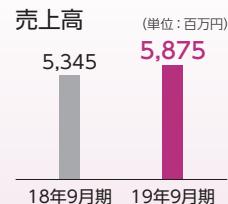
## 研磨材事業

売上高構成比  
**29.9%**



主力の超精密加工用研磨材は、半導体デバイス用途(CMP)等は米中貿易摩擦、日韓貿易問題など不透明な経済環境の中、その影響も懸念されましたが、各種センサー、通信用途向けが堅調に推移しました。ハードディスク用途ではデータセンター用が、液晶ガラス用途でも大型パネル向けを中心に需要が回復しました。

この結果、売上高は前年同期比529百万円(9.9%)増収の5,875百万円、営業利益は221百万円(21.1%)増益の1,270百万円となりました。



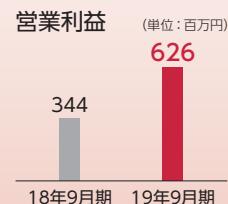
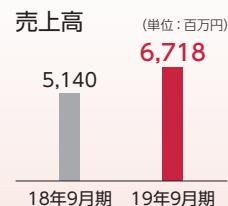
## 化学工業品事業

売上高構成比  
**34.1%**



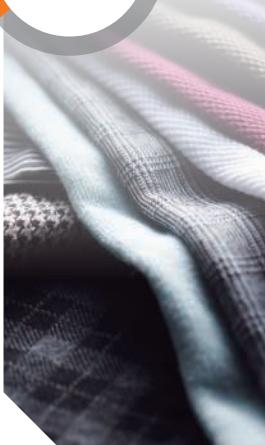
機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、中国における環境規制の影響や高い品質を要求される化学工業品において、生産の日本国内回帰の傾向が続いており、電子材料用を中心に全ての分野で堅調に推移し、柳井工場・武生工場ともフル稼働となりました。

この結果、売上高は前年同期比1,578百万円(30.7%)増収の6,718百万円、営業利益は282百万円(81.9%)増益の626百万円となりました。



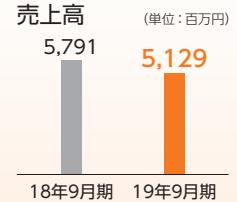
## 織 維 事 業

売上高構成比  
26.1%



アンダーウェアを中心とする繊維製品は、インターネットなど新規チャネルでの販売は拡大を続けておりますが、地方百貨店の減少、大手量販店における衣料品売場の縮小に加え、プライベートブランドへの転換の影響を受け、メンズインナー定番品の販売の減少が続きました。繊維素材では、原材料価格高止まりに対応するための販売価格への転嫁、採算性の低い商材からの撤退を進めました。

この結果、売上高は前年同期比661百万円(11.4%)減収の5,129百万円、営業利益は208百万円(64.0%)減益の117百万円となりました。



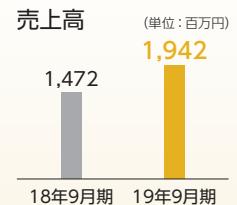
## その他の事業

売上高構成比  
9.9%



貿易事業は、中米カリブ海地域向け自動車・農業用機械などの三国間貿易が回復傾向となってきました。化成事業は、デジタルカメラ用部品は苦戦しましたが、医療機器用部品が堅調に推移するとともに、2018年10月1日付で連結対象となったプラスチック射出成形用金型子会社が貢献し、売上高・利益が前年同期比で増加しました。

この結果、売上高は前年同期比469百万円(31.9%)増収の1,942百万円、営業利益は106百万円(398.6%)増益の133百万円となりました。



# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 2019年9月30日 現 在	前 期 2019年3月31日 現 在
<b>資産の部</b>	<b>50,740</b>	<b>52,270</b>
<b>流動資産</b>	<b>18,211</b>	<b>19,858</b>
現金及び預金	3,542	4,895
受取手形及び売掛金	9,146	9,369
商品及び製品	1,814	2,191
仕掛品	2,135	1,924
原材料及び貯蔵品	1,142	1,118
その他	462	376
貸倒引当金	△32	△17
<b>固定資産</b>	<b>32,529</b>	<b>32,411</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>29,224</b>	<b>29,126</b>
建物及び構築物	6,774	6,903
機械装置及び運搬具	5,425	5,721
土地	13,917	13,912
その他	3,106	2,588
<b>無形固定資産</b>	<b>794</b>	<b>828</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,509</b>	<b>2,456</b>
その他	2,557	2,456
貸倒引当金	△47	△0
<b>資産合計</b>	<b>50,740</b>	<b>52,270</b>

科 目	当中間期 2019年9月30日 現 在	前 期 2019年3月31日 現 在
<b>負債の部</b>	<b>17,135</b>	<b>19,492</b>
<b>流動負債</b>	<b>9,891</b>	<b>12,168</b>
支払手形及び買掛金	3,777	3,576
電子記録債務	974	1,040
短期借入金	1,100	1,879
未払法人税等	690	581
賞与引当金	656	648
返品調整引当金	40	44
その他	2,650	4,397
<b>固定負債</b>	<b>7,243</b>	<b>7,323</b>
長期借入金	344	426
退職給付に係る負債	4,870	4,860
資産除去債務	307	307
その他	1,720	1,728
<b>純資産の部</b>	<b>33,605</b>	<b>32,778</b>
<b>株主資本</b>	<b>31,516</b>	<b>30,729</b>
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,176	2,174
利益剰余金	23,221	22,455
自己株式	△555	△573
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>2,089</b>	<b>2,048</b>
その他有価証券評価差額金	572	550
繰延ヘッジ損益	△0	△6
土地再評価差額金	1,270	1,270
為替換算調整勘定	232	238
退職給付に係る調整累計額	14	△3
<b>非支配株主持分</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>50,740</b>	<b>52,270</b>

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2019年4月1日～ 2019年9月30日	2018年4月1日～ 2018年9月30日
売上高	19,666	17,750
売上原価	13,111	11,667
売上総利益	6,554	6,082
販売費及び一般管理費	4,407	4,336
営業利益	2,146	1,745
営業外収益	176	168
受取利息	1	2
受取配当金	28	26
固定資産賃貸料	132	117
その他	13	21
営業外費用	76	68
支払利息	8	4
固定資産賃貸費用	32	32
コミットメントフィー	16	16
その他	19	14
経常利益	2,247	1,845
特別利益	1	—
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	0	—
特別損失	186	45
固定資産処分損	78	34
減損損失	6	8
構造改革費用	92	—
その他	9	1
税金等調整前四半期純利益	2,062	1,800
法人税、住民税及び事業税	718	598
法人税等調整額	5	7
四半期純利益	1,338	1,194
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,338	1,194

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2019年4月1日～ 2019年9月30日	2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	3,131	2,394
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△3,019	△556
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△1,431	△2,202
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△31	△49
現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)	△1,350	△414
現金及び現金同等物の 期首残高	4,830	4,694
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,480	4,280

## 次世代研磨パッドの 開発・評価に向けて 最新鋭設備を導入

IoT(モノのインターネット)によって、様々なデータが集められ、AI(人工知能)が分析してフィードバックし、AIもモノも賢くなっていく、こうした技術の進化を下支えするのが、LSI(大規模集積回路)の中のリソグラフィやメモリーな



どの半導体デバイスです。

近年、半導体デバイスは、大容量の情報的高速処理するため、回路の配線幅の

微細化に加え、3次元配線技術の高度化により多層化が急速に進んでいます。このような中、半導体デバイスの製造工程における平坦化プロセス(研磨工程)の重要性は日に日に高まっています。

フジボウ愛媛(株)では、半導体デバイス向けの研磨材の開発・評価を加速するため、このほど最新鋭の研磨機と評価装置を導入しました。これらを活用することで、お客様に精度の高い研磨技術のフィードバックを行い、ニーズをとらえた製品をタイムリーにお届けします。

## 設備増強で 旺盛な需要に応える

化学工業品事業を担う柳井化学工業(株)は、機能化学品や医薬中間体などのファインケミカルの受託メーカーとして、お客様からの多様な要望に応えています。



次世代通信、自動車のEVシフト、ヘルスケア分野の拡大

等々、高性能化学品に対する需要が高まる中、中国では環境規制が厳格化し、化学工業品生産の国内回帰の動きも追い



風となって、柳井・武生両工場共にフル稼働となり、売上高・営業利益は過去最高を更新しています。

柳井化学工業(株)は、今後も受注の着実な増加を見込んでおり、武生工場では、2020年度の完成を目指して生産ラインの増設を進め、柳井工場でも、ユーティリティ関連設備の増強を行っています。積極的な設備投資により、「品質」「安全」「環境」に最大限の配慮をした万全の生産体制づくりを目指します。

## 進化するインナー 「B.V.D. EVER DRY」

「B.V.D. EVER DRY」は今年の夏、インターネットに限定した先行販売でご好評をいただき、2020年春から全国展開いたします。

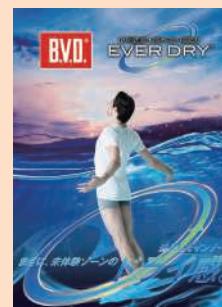
汗で濡れた肌着のベタつきは不快なものです。本製品は洗濯を繰り返しても吸水性・速乾性を維持



し、汗をかいてもすぐ乾き、さらっとした軽い着心地を保ちます。その素材には、超極細繊維を使用し、柔らかく品位ある滑らかな風合いに仕上げました。

爽やかな印象作りに欠かせないことの一つがニオイ対策です。抗菌防臭加工によりニオイの原因となる繊維上の細菌の増殖を抑制しますので、汗臭対策だけでなく、部屋干しの方にもお勧めできます。

また、ストレッチ素材と立体裁断により、身体の動きに合わせて快適にフィットします。厳しさを増す夏や、親しむ機会が増えたスポーツシーンを、快適に過ごすための提案が「B.V.D. EVER DRY」です。



Topics

3

繊維事業

## メディカル用途の 需要拡大に応じて 新工場が稼働



高精度のプラスチック成形技術で、第4の柱としての成長が期待される化成事業。人工透析等に用いられるシリンジや留置針などの医療機器用部品の需要が堅調であり、更なる受注拡大が見込まれています。

このほど、お客様のニーズに応え、フジボウテキスタイル(株)大分工場に医療製品向け新工場が完成しました。安全性、信頼性が求められる医療機器用部品に対応するため、クリーンルームを備えた新工場です。部品の成形だけでなく、組み立てにも対応するため、自動組立機も導入し、今年度中にフル生産体制に移行する予定です。

引き続き、更なる事業拡大に向け、営業活動を強化し、当社グループにおける次代の柱として育てていきます。



Topics

4

化成事業

## 会社概要

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体104名 連結1,298名
主要な事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

## 連結対象会社

### ■ 研磨材事業

フジボウ愛媛(株)  
台湾富士紡精密材料股份有限公司  
フジケミ(株)

### ■ 化学工業品事業

柳井化学工業(株)

### ■ その他の事業

フジボウ愛媛(株)  
フジボウテキスタイル(株)  
フジケミ(株)  
(株)東京金型

### ■ 繊維事業

フジボウ愛媛(株)  
(株)フジボウアパレル  
(株)フジボウソーイング  
富士紡(常州)服装有限公司  
ジンタナフジボウコーポレーション  
フジボウテキスタイル(株)  
タイフジボウテキスタイル(株)  
アングル(株)  
富士紡(上海)商貿有限公司

## 役員

代表取締役会長兼社長 社長執行役員	中野光雄
代表取締役 副社長執行役員	青木隆夫
代表取締役 専務執行役員	吉田和司
取締役 上席執行役員	木原勝志
取締役 上席執行役員	豊岡保雄
取締役	茅田泰三
取締役	秀島信也
取締役	ルース・マリー・ジャーマン
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	生田目 克
監査役	大塚幸太郎

(注) 1. 取締役の茅田泰三、秀島信也、ルース・マリー・ジャーマンの3氏は社外取締役であります。  
2. 監査役の大西秀昭、生田目克、大塚幸太郎の3氏は社外監査役であります。

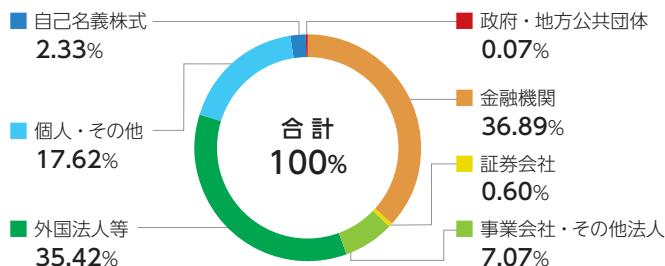
## 執行役員

常務執行役員	藤岡敏文
執行役員	鈴木 眞
執行役員	野口篤謙
執行役員	岡田祐明
執行役員	井上雅偉
執行役員	中村隆夫
執行役員	平野 治
執行役員	安藤興司

## 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	5,821名

## 所有者別分布状況

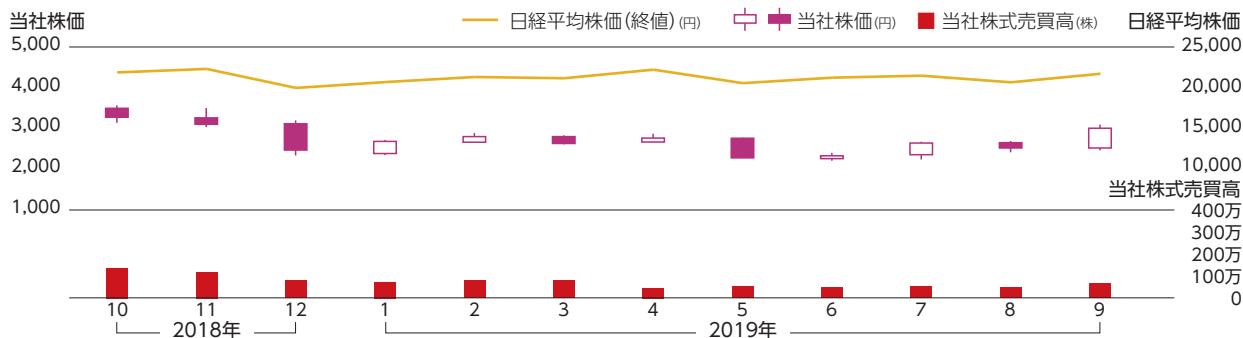


## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	931,000	8.13
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	581,227	5.08
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.66
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	523,100	4.57
株式会社三菱UFJ銀行	500,000	4.37
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	420,700	3.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	420,600	3.67
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	316,600	2.77
フジボウ共栄会	284,200	2.48

(注) 持株比率は、自己株式(272,817株)を控除して計算しております。

## 当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電 話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公 告 の 方 法 電子公告により行う  
公告掲載URL <https://www.fujibo.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12  
電話 03-3665-7777(代)



<https://www.fujibo.co.jp/>

